

## 研究 成 果 報 告 書

(国立情報学研究所の民間助成研究成果概要データベース・登録原稿)

研究テーマ (和文) AB		国家法と地方法規の比較分析による中国環境法の全体像の解明			
研究テーマ (欧文) AZ		Chinese Environmental Law: Coexistence and Interaction of National Law and Local Law			
研究氏 代 表 名 者	カカナ CC	姓) カタオカ	名) ナオキ	研究期間 B	2003 ~ 2005 年
	漢字 CB	片 岡	直 樹	報告年度 YR	2005 年
	ローマ字 CZ	Kataoka	Naoki	研究機関名	東京経済大学
研究代表者 CD 所属機関・職名		片岡直樹 東京経済大学現代法学部・教授			
<p>概要 EA (600 字～800 字程度にまとめてください。)</p> <p>中国の環境法には、中央の法と地方の法という 2 種類の法が存在する。これら 2 つの法源は、どのような相互関係にあるのか。本研究は、環境問題に関する国家法と地方法が、実際には、どのような役割分担をしてきたのかを明らかにしようとするものである。</p> <p>本研究では、中国で発行された複数の法令データベースを使い、1949 年の建国から 2003 年までの間に地方において制定された環境関係の法規類の内容を分析する。そして国家法の内容と比較対照して、地方法の果たしてきた役割を明らかにする。複数のデータベースを使うのは、地方の法規類を網羅した公式の地方法規集が発行されていないので、可能な限り地方法規を収集するためである。またそれらは、いわば私家版法令データベースであるから、それらに収録されている地方法規類を比較対照することで、収録法規の正確性を検討・点検するためである。</p> <p>現在、環境法の個別具体的領域と内容ごとに分析作業を続けているところであり、これは中間報告となる。現在までの分析からは、国家の環境法と地方の環境法との関係について、以下のような特徴が指摘できる。</p> <p>①地方法が国家法の執行規範という役割を持つこと。ただし、以下の点に留意したい。国家法の内容をなぞっただけの地方法があること。また地方法が存在していない地域があること(なおこれは、データベース側の収集に問題がある可能性がある)。</p> <p>②地方法が立法実験という役割を持つこと。国家法の制定に先行して地方法が制定され、その経験が国家法に反映される。ただし、国家法が制定された後、内容に食い違いがあっても、先行した地方法がそのまま存在していて、法の階層関係が維持されていないことがある。</p> <p>今後、さらに分析作業を進め、中国環境法の全体像を明らかにすると共に、中国の環境法における国家法と地方法の役割について、歴史的な変遷があるのか否か、についても分析・考察する予定である。</p>					
キーワード FA	中国法	環境法	地方法	立法実験	

(以下は記入しないでください。)

助成財団コード TA					研究課題番号 AA								
研究機関番号 AC					シート番号								

発表文献（この研究を発表した雑誌・図書について記入してください。）									
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>								
	著者名 <sup>GA</sup>		雑誌名 <sup>GC</sup>						
	ページ <sup>GF</sup>	～	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>								
	著者名 <sup>GA</sup>		雑誌名 <sup>GC</sup>						
	ページ <sup>GF</sup>	～	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
雑誌	論文標題 <sup>GB</sup>								
	著者名 <sup>GA</sup>		雑誌名 <sup>GC</sup>						
	ページ <sup>GF</sup>	～	発行年 <sup>GE</sup>					巻号 <sup>GD</sup>	
図書	著者名 <sup>HA</sup>	中国環境問題研究会（編）							
	書名 <sup>HC</sup>	中国環境ハンドブック（「中国環境法の体系」（pp.202－207）、「環境法の調べ方」（pp. 247－253））							
	出版者 <sup>HB</sup>	蒼蒼社	発行年 <sup>HD</sup>	2	0	0	4	総ページ <sup>HE</sup>	4 3 7
図書	著者名 <sup>HA</sup>								
	書名 <sup>HC</sup>								
	出版者 <sup>HB</sup>		発行年 <sup>HD</sup>					総ページ <sup>HE</sup>	

#### 欧文概要<sup>EZ</sup>

The body of the Chinese environmental law consists of the national law (national laws and regulations) and the local law (local regulations). The aim of this work is to investigate and make clear how those two kinds of law are related to each other and what roles they actually share in the whole system of the Chinese environmental law.

In order to answer those questions, we examined the times when the local environmental laws were enacted in the relevant region, and compared the contents of those laws, based on several Chinese legal databases that contain comprehensive legal documents of China from 1949 to 2003, so that we were able to cover as many local regulations as possible and cross-check the contents of them.

Since this study is still worked on, we report as the followings, as an interim report, regarding the characteristics of the roles of the local environmental law. The local environmental law has two roles. One is to provide specific instructions for implementing the national law, whose provisions are too abstract to be implemented. The other is to make experimentation of legislation: the various experiences under the local environmental regulations, which were enacted before the national law was established, are made use of in order to develop the new national laws and regulations.